

鴨川市教育委員会 7 月定例会議事録

- 1 日 時 令和元年 7 月 18 日 (木) 開会 午後 2 時 00 分
閉会 午後 3 時 30 分
- 2 場 所 天津小湊支所 2 階 会議室
- 3 出席委員 (1) 月岡正美 (2) 根本新太郎 (3) 石井千枝
(4) 永島康弘 (5) 吉原里夏
- 4 出席職員 (1) 渡邊弘仁 (2) 長谷川幹男 (3) 石川丈夫
(4) 石井利彦 (5) 三浦 徹 (6) 石井和美

5 教育委員会 6 月定例会議事録の承認

- ・ 月岡教育長から、6 月定例会議事録について、訂正等の確認がなされ、質疑なく、全員の了承が得られた。

6 教育長・委員報告

- ・ 月岡教育長から、6 月定例会議以降に教育長が出席した行事等の内容について、別紙報告書を基に報告がなされた。
- ・ 永島委員から、国際交流協会では、マニトワック市からの来訪学生の歓迎会を 7 月 23 日火曜日に鴨川オーシャンパークにて開催されるとの報告がなされた。
- ・ 永島委員から、委員自身が所属する鴨川サーフィングクラブが 7 月 10 日鴨川小学校にて 6 年生を対象にサーフィンスクールを実施した、天候にも恵まれ子ども達は皆楽しそうに笑顔で活動していた、17 日に天津小湊小で予定されていた同スクールは残念ながら悪天候のため中止となったとの報告がなされた。加えて、同スクールは次年度以降も継続していく意向であるとの説明がなされた。
- ・ 石井委員から、7 月 1 日に安房東中学校にて実施された南房総教育事務所所長訪問について、生徒の人数が少ないこともあり、大変落ち着いた良い人間関係を感じさせる授業が展開されていた。体育で備品が十分ではない授業があったので何とか他校などうまく融通できないものか、英語は教師も生徒も大変活気があり楽しそうな授業であった、改めて若手教員が増えてきたことを感じた、との報告がなされた。また、障害者枠で採用された職員が在籍していることについて、様々な配慮が必要ではあるが、学校全体として良い学びの機会となっているのではないか、これからも互いが負担と感じないような環境作りが

大切である、との意見がなされた。

- ・ 月岡教育長から、本日、一般市民から教科書採択について傍聴を希望する問い合わせがあったが、渡邊学校教育課長が対応し、本日の委員会では教科書採択は行わないこと、次回委員会での採択の際も当日改めて公開・非公開を決定することとなるが、委員皆さんの事前の意向は非公開であることを伝えた、との報告がなされた。

7 報告事項

(1) 令和元年度マニトワック市青少年受入事業及び鴨川市青少年海外派遣事業について

- ・ 石川生涯学習課長から、令和元年度マニトワック市青少年受入事業及び鴨川市青少年海外派遣事業について、資料をもとに報告がなされた。
- ・ 石井委員から、マニトワック市からの訪問学生、本市からの渡米学生ともに女子が多いが、応募段階からこのような比率だったのか、との質問がなされた。
- ・ 石川生涯学習課長から、マニトワック市の選考過程は不明であるが、本市の選考においては、応募段階ではもう少し男子の比率が高かったが、厳正な選考の結果、このような比率（女子5名、男子1名）になった、との説明がなされた。

(2) 令和元年度鴨川市社会教育委員会議について

- ・ 石川生涯学習課長から、令和元年度鴨川市社会教育委員会議について、資料をもとに報告がなされた。

(3) その他

- ・ 渡邊学校教育課長から、6月20日の議員全員協議会において、小中学校エアコン設置に係る工事の契約状況及び予算の執行状況について説明をしたと、資料をもとに報告がなされた。
- ・ 月岡教育長から、小中学校の夏の暑さ対策として、壁掛け扇風機の全普通教室への増設、ミストシャワー及び熱中症の危険度がわかる温湿度計の各校配付、各校の実情に応じた簡易スプリンクラー等の必要物品の配付を行ったこと、ソフト面として子ども達の体調管理の徹底と暑さに応じた授業や行事等の柔軟な実施を各校に指示したことについて、報告がなされた。

8 議 事

(1) 鴨川市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について

- ・ 渡邊学校教育課長から、鴨川市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について、資料をもとに説明がなされた。

- ・ 補足として、石井主査から、近隣市町も同様の対応を行っていることについて説明がなされた。
 - ・ 石井委員から、生活保護家庭にも生活保護費とは別に支給されるのか、との質問がなされた。
 - ・ 石井主査から、生活保護家庭には大半が生活保護費の中で支給されるが、そちらでは支給対象とならない修学旅行費などが修学援助費で支給対象となる、との説明がなされた。
 - ・ 根本委員から、小学6年生時まで支給認定されていたが、中学進学にあたり認定外となった家庭はどの程度あるのか、との質問がなされた。
 - ・ 石井主査から、該当は1件であり、理由は当該家庭から家計の好転により認定辞退の申し入れがあったことによる、との説明がなされた。
- 他に質疑なく、鴨川市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について、承認された。

9 その他

(1) 公民館の有料化について

- ・ 石川生涯学習課長から、公民館の有料化の検討について、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 根本委員から、公民館の市外利用者数について、質問がなされた。
- ・ 石川生涯学習課長から、詳細な数字は把握していないが利用者はほぼ市内在住者であると認識している、との説明がなされた。

(2) 鴨川市民ギャラリーについて

- ・ 石川生涯学習課長から、鴨川市民ギャラリーの休館の検討について、資料をもとに説明がなされた。
- ・ 永島委員から、本件について社会教育委員会議に諮った際に委員からどのような意見が出されたか、との質問がなされた。
- ・ 石川生涯学習課長から、事業仕分けにおいて市民判定員から「不要凍結」の判定をいただいてから約1年半の間、具体的な動きが示されなかったのは対応が遅いのではないかと、しかし、老朽化による休館はやむを得ないだろう、市の財政状況もあろうが、同様の機能を持った代替施設の確保について最善をつくしてほしい、との意見をいただいたと説明がなされた。

(3) 平成30年度教育委員会の点検と評価（外部評価記入）について

- ・ 三浦主任管理主事から、平成30年度教育委員会の点検と評価（外部評価記入）について、資料をもとに説明がなされた。

- ・ 根本委員から、外部評価は続けて同じ方に依頼することがあるのか、との質問がなされた。
- ・ 三浦主任管理主事から、同じ人ということではなく、例えば幼児教育・保育については幼稚園・保育園の主任など各事業の内容に即した方に評価をお願いしている、との説明がなされた。
- ・ 根本委員から、同一の方が何年も評価に関わることはあるのか、との質問がなされた。
- ・ 石川生涯学習課長から、生涯学習課担当部分については社会教育委員会議にて評価をお願いしている、委員の任期により複数年評価に関わる事例がある、との説明がなされた。

(4) その他

- ・ 渡邊学校教育課長から、その他として、全国小学生陸上競技大会千葉県予選において、東条小6年生男子児童が100m走で準優勝し全国大会出場が決まったこと、そして、千葉県学校歯科保健優良校表彰において、安房東中と天津小湊小が最優秀校に選ばれ、全国審査の対象校となったことについて、報告がなされた。
- ・ 石川生涯学習課長から、今夏、安房東中と天津小湊小職員を対象に小湊地区の歴史などを学ぶ現地研修を行う、との報告がなされた。
- ・ 石井委員から、次回以降の定例会議の日に、鴨川市教育支援センター「ステーション」の視察を希望したいとの意見がなされた。

10 閉 会

閉会后、8月の教育委員会行事予定について、事務局より説明がなされた。

月岡教育長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和元年8月27日

鴨川市教育委員会 教育長 月岡 正美

教育長職務代理者 石井 千枝

議事録作成 (学校教育課長 渡邊 弘仁)